2026 年 8 月 6 日

令和 8 年度 学校関係者評価報告書

学校法人大原学園
大原公務員・医療事務・語学専門学校函館校
学校関係者評価委員会

学校法人大原学園　大原公務員・医療事務・語学専門学校函館校　学校関係者評価委員会は、令和 7 年度自己点検・評価報告書に基づいて学校関係者評価を実施し、以下の通り報告いたします。

1．実施日時

令和 8 年 8 月 5 日（水）　16:00～16:50

2．実施会場

大原学園　函館校

3．学校関係者評価委員

（外部委員）

野田　昌樹　　氏（公益社団法人　函館市医師会　函館市医師会病院　事務部長）
山田　拓也　　氏（函館市経済部雇用労政課　主査）
影　　朋希　　氏（函館大妻高等学校　教諭）

（事務局）

渡邉　良憲　　（大原公務員・医療事務・語学専門学校函館校　校長）
八重樫　孝友　　（大原公務員・医療事務・語学専門学校函館校　課長補佐）

4．令和 7 年度 学校関係者評価報告

本評価においては、令和 7 年度自己点検・評価報告書に基づき、学校運営及び教育活動全般について評価を行うとともに、さらなる改善・向上を図るため、自己点検・評価の結果を踏まえて選定した 4 項目を重点評価項目として設定し、学校関係者による重点的な審議を実施する。

なお、重点評価項目以外についても、自己点検・評価報告書に基づき評価を行い、その結果を学校関係者評価委員会総括に反映する。

下記表中「 評定 」の基準

＜3 段階＞

3：基準を満たしており、特筆すべき取組を行っている
2：概ね基準を満たしている
1：基準を満たしておらず改善が必要

【重点項目】

4-3　教員の資質の向上

自己評定（達成度）	2

点検・評価項目	評価の視点
4-3-2　教員の専攻分野における実務に関する知識・技術、技能を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っていること。	①職業実践専門課程の認定校においては、企業等と連携した研修（専攻分野の知識等）を組織的に行っているか

（1）総括

企業等と連携した教員研修を実施し、各学科が目指す資格試験の制度や業界ニーズに対応する教育が実践できるよう、教員の資質向上に努めている。また、研修で得た知識や情報を教育活動に反映し、教育内容の質の向上に繋げている。

今後も、教員の専門性向上および教育力強化を図るため、企業研修や外部研修への参加機会をより一層充実させるとともに、研修成果を組織的に共有し、教育内容の継続的な改善に取り組む。

（2）学校関係者の評価・提言

適正に運営されている

2-4　学修成果目標の達成状況

自己評定（達成度）	2

点検・評価項目	評価の視点
2-4-2　学生の進路に関する目標を定め、その目標を達成していること。	①学生の就職、進学等進路に関して具体的な目標を定め、その目標の達成状況を把握しているか ②卒業後の進路・キャリア形成に関する相談や指導などの支援体制を整備し適切に運用しているか ③卒業生の進路・キャリア形成状況等を踏まえ、当該専門学校の教育課程、教育方法、学修成果等を検証し、必要に応じ、それを踏まえた改善・向上策をとっているか ④卒業生、実習先・就職先など関連する企業及びその他組織の意見や在学生の意見を勘案するなど、多角的、継続的な視点に立った検証方法等について工夫をしているか

（1）総括

目標設定、就職希望者数・就職者数および各コースの就職率については適切に把握できている。また、学内で実施する各種就職説明会が内定獲得に繋がっているほか、学園本部を中心として就職サポートシステムを活用し、全国統一の基準による就職活動状況の一元管理を行っている。これにより、各校の達成状況をリアルタイムで確認できる体制を整備している。さらに、学生の利便性向上を目的として、求人情報等をウェブ上で検索できるシステムを導入している。

一方で、学生一人ひとりの希望や適性を踏まえた企業選択をより一層推進し、フリーターや非正規雇用による進路決定者を出さないための支援体制の強化が課題である。今後も内定率 100%の達成と、学生のキャリアプランに沿った就職実現を目指し、効果的な指導に必要な情報収集と支援の充実に継続して取り組む。

卒業生の進路およびキャリア形成の把握については、一部の卒業生に対する状況確認に留まっている。そのため、卒業生の進路・キャリア形成に関する実態を継続的かつ効果的に把握できる調査方法の検討を進める必要がある。

（2）学校関係者の評価・提言

適正に運営されている

3-3　学生生活に関する支援

自己評定（達成度）	2

点検・評価項目	評価の視点
3-3-1　カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	①学生生活等に関する相談体制を整備し、相談対応について、十分、学生に対して周知し、機能、活用されているか

（1）総括

定期的に担任が個人面接を実施し、学習目標の確認や学習上の悩み、学校生活に関する相談への対応を行っている。また、上司および部署内で学生情報の共有を行うことで、担任だけでなく学科全体で学生を支援する体制を整備している。

一方で、学生の価値観や抱える課題の多様化に伴い、担任に求められる対応の幅が広がり、負担が増加している。また、学生支援には家庭との連携が不可欠であるが、十分な協力が得られないケースも見受けられる。そのため、学生相談や面談に関する教員のスキル向上を継続的に図る必要がある。

今後は、教員研修等を通じて相談対応能力の向上を図るとともに、より専門的な支援が必要な学生に対応できるよう、カウンセリングを実施できる専門家との連携や相談体制の整備について検討を進める。

（２）学校関係者の評価・提言

適正に運営されている

1-2　職業教育のマネジメント体制の整備

自己評定（達成度）	2

点検・評価項目	評価の視点
1-2-1　職業教育を推進（教育の企画・設計・運用、検証及び改善・向上等）するために必要なマネジメント体制（以下「職業教育のマネジメント体制」という。）を整備し、有効に機能していること。	①当該専門学校の目的を実現するために、学校内に具体的に職業教育を推進するための組織体制を整備しているか ②職業教育のマネジメント体制は有効に機能しているか

（１）総括

校長を中心とした運営体制のもと、運営会議、学科会議、教育課程編成委員会等を設置し、教育課程の企画・運営・改善を組織的に実施している。また、資格取得状況、就職実績、学生アンケート等を活用し、教育活動の検証と改善に継続的に取り組んでいる。さらに、教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会を通じて、業界ニーズや外部有識者からの意見を教育内容へ反映する体制を整備している。

一方で、社会情勢や業界環境の変化に対応し、教育内容へより迅速に反映できる仕組みづくりが課題である。今後は、企業・業界との連携をさらに強化するとともに、教育課程編成委員会等で得られた意見を速やかに教育課程へ反映する体制の充実を図る。また、教育成果の分析や教職員間での情報共有を一層推進し、継続的な教育の質の向上に取り組む。

（２）学校関係者の評価・提言

適正に運営されている

５．学校関係者評価委員会総括

大原公務員・医療事務・語学専門学校函館校の「自己点検・評価報告書」について、重点評価項目以外の項目も含め、令和７年度自己点検・評価報告書に基づき確認・審議を行い、学校運営及び教育活動全般に関する評価を企業、卒業生、近隣住民の視点から検証を行った。

教育成果及び学生指導並びに学校運営の取組みなど評価結果は妥当であると評価できる。現状として、学生、保護者はもちろんのこと、学生を採用する企業等からも評価される良い教育が提供できていると思われる。

今年度の重点課題である「3-3 学生生活に関する支援」および「4-3 教員の資質向上」に関連する、ハラスメント防止を含む教職員と学生との関係構築については、引き続き強化が求められる。社会のニーズに応じた教育を継続し、専門性を備えた人材を育成していくためには、学生相談体制の充実と、教員の時代に即した指導力向上が不可欠である。経験の踏襲にとどまらず、分析・研究を重ね、学生の信頼と満足度がさらに高まる教育の実践を期待する。

学校関係者一同、今後も客観的な視点から様々な提言を投げかけることにより、大原公務員・医療事務・語学専門学校函館校が社会の信頼を益々得られるようにサポートして行きたい。